



自衛隊体育学校

2017冬季アジア札幌大会 出場予定選手一覧

※ 両競技とも、試合前日に行われる監督会議により出場選手が決定

平成29年2月14日現在

クロスカントリー

競技日程

- ・スプリント種目
 - 1. 4kmクラシカル 20日 9時30分～
- ・ディスタンス種目
 - 15kmフリー 21日 11時30分～
 - 10kmクラシカル 23日 11時～
- ・リレー種目 4×10km 24日 12時30分～
- ・マスタート種目 30kmフリー 26日 12時30分～

スキー クロスカントリー
かしわばら 柏原 暢仁 3等陸尉




生年月日	昭和63年8月13日(28歳)	入 隊	平成23年 4月
出身地	長野県白馬村	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	・早稲田大学 ・飯山南高校		

スキー クロスカントリー
しみず 清水 康平 2等陸曹




生年月日	平成元年1月25日(28歳)	入 隊	平成26年 4月
出身地	北海道名寄市	アジア大会 出場歴	第7回 アスタナ・アルマティ大会
出身校	・日本大学 ・和寒高校		

バイアスロン

競技日程

- ・スプリント種目
 - 男子10km 23日 10時～
 - 女子7.5km 23日 12時～
- ・パシュート種目
 - 男子12.5km 24日 10時～
 - 女子10km 24日 12時～
- ・ミックスリレー種目 25日 10時～
- ・マスタート種目
 - 男子15km 26日 10時～
 - 女子12.5km 26日 12時～

バイアスロン
たちざき みきと 立崎 幹人 2等陸曹




生年月日	昭和63年5月17日(28歳)	入 隊	平成23年 4月
出身地	青森県十和田市	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	・早稲田大学 ・野辺地高校		

バイアスロン
なかじま ゆうき 中島 有基 3等陸曹





生年月日	昭和63年9月4日(28歳)	入 隊	平成26年 3月
出身地	新潟県十日町市出身	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	十日町総合高校		

バイアスロン
こほのき つかさ 枋木 司 3等陸曹




生年月日	平成3年12月5日(25歳)	入 隊	平成22年 4月
出身地	青森県東北町	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	野辺地高校		

バイアスロン
おさき こうすけ 尾崎 光輔 3等陸曹

生年月日	平成4年10月7日(24歳)	入 隊	平成23年 4月
出身地	山形県尾花沢市	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	北村山高校		

バイアスロン
てらばやし たくと 寺林 拓人 陸士長




生年月日	平成6年11月17日(22歳)	入 隊	平成25年 3月
出身地	北海道美瑛町	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	恵庭南高校		

バイアスロン
たなか ゆりえ 田中 友理恵 2等陸曹




生年月日	昭和64年1月6日(28歳)	入 隊	平成23年 4月
出身地	新潟県南魚沼市	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	・日本大学 ・小出高校		

バイアスロン
ふるや さり 古谷 沙理 2等陸曹




生年月日	平成2年5月25日(26歳)	入 隊	平成25年 4月
出身地	北海道俱知安町	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	・早稲田大学 ・俱知安高校		

バイアスロン
たちざき みゆこ 立崎 美由子 3等陸曹




生年月日	平成元年1月13日(28歳)	入 隊	平成19年 3月
出身地	秋田県北秋田市	アジア大会 出場歴	第7回 アスタナ・アルマティ大会
出身校	米内沢高校 (現 秋田北鷹高校)		

バイアスロン
みつはし りな 三橋 李奈 3等陸曹




生年月日	平成2年4月2日(26歳)	入 隊	平成21年 4月
出身地	北海道美幌町	アジア大会 出場歴	初出場
出身校	美幌高校		

バイアスロン
はちすか あすか 蜂須賀 明香 陸士長




生年月日	平成4年9月26日(24歳)	入 隊	平成27年 3月
出身地	北海道天塩町	所 属	北部方面会計隊
出身校	・東海大学 ・おといっぴろ美能工業高校	アジア大会 出場歴	初出場

バイアスロン
たなか きらり 田中 きらり 陸士長




生年月日	平成9年2月5日(20歳)	入 隊	平成27年 3月
出身地	秋田県鹿角市	所 属	北部方面通信群
出身校	花輪高校	アジア大会 出場歴	初出場

自衛官アスリート 冬季アジア札幌大会へ

冬季特別体育教育室

冬季特別体育教育室が自衛隊体育学校隷下となり初のアジア冬季競技大会

今大会には13名（クロスカントリー2名、バイアスロン11名）の選手が日本代表入りを果たし、大会でのメダル獲得に挑む。

クロスカントリー-競技では、今年1月行われた全日本スキー選手権大会（新潟県十日町市）で、1.3kmスプリントフリー走法で優勝した柏原 暢仁3等陸尉がメダル獲得に闘志を燃やす。また、バイアスロン競技では、バンクーバー五輪及びソチ五輪代表の立崎 芙由子3等陸曹が表彰台を狙う。

競技概要



クロスカントリー
Cross-Country

スキー競技の一種で、スキーとストックを使って走行する。走法には、伝統的な技術のみが認められる「クラシカル走法」（左右のスキーを平行に保って走行する。いわゆるスケートング滑走は禁止）と技術に制限がない「フリー走法」の2種類がある。また、スタート形式は選手が一斉にスタートする「マス・スタート」と一定の時間差で1人ずつ順次スタートする「インターバル・スタート」がある。

種目は滑走距離や走法等により6種からなるが今回の冬季アジア大会はこのうち4種目を実施

◎ スプリント種目

滑走距離は男子1km～1.8km、女子0.8km～1.4km（距離は大会ごとに決定）で、クラシカル、フリーそれぞれの走法で実施。決勝ではマス・スタートにより4～6名の選手が出走し、上位者が勝ち上がるトーナメント方式を採用

◎ ディスタンス種目

滑走距離は男子10km～15km、女子5～10km（距離は大会ごと決定）で、クラシカル、フリーそれぞれの走法で実施。インターバル・スタート（30秒間隔）で出走し、滑走時間の短さで順位を競う。

◎ マススタート種目

滑走距離は男子30km～50km、女子15～30km（距離は大会ごと決定）で、クラシカル、フリーそれぞれの走法で実施。マス・スタートで出走し、順位を競う。

◎ リレー種目

滑走距離は公式戦では男子40km（10km×4人）、女子20km（5km×4人）で実施。1・2走がクラシカル、3・4走がフリー走法。1走者はマス・スタートで出走し、中継区間では次走者の体に触れ交代する。

第8回アジア冬季競技大会(2017/札幌)

◎ 大会概要

アジア地域における冬季スポーツの発展を図ることを目的として開催する総合国際スポーツ大会。

第1回大会は1986年に札幌で行われ、今回4度目の日本での開催となる。

今大会には5競技64種目に約30の国と地域が参加予定

◎ 大会期間 2月19日(日)～26日(日) (8日間)

◎ 競技会場

クロスカントリー：札幌市白旗山競技場
（札幌市清田区真栄502番地1）
バイアスロン：西岡バイアスロン競技場
（札幌市豊平区西岡）



バイアスロン
Biathlon

クロスカントリースキー（フリー走法）とライフル射撃（射距離50m）を組み合わせた複合競技。

種目は滑走距離や射撃の種類（伏射・立射）・回数等によって7種目からなるが、今回の冬季アジア大会はこのうち4種目を実施

◎ スプリント種目

男子10km（約3.3km×3周）、女子7.5km（2.5km×3周）で、1周滑走後に伏射、2周滑走後に立射を実施。1回の射撃ごとに5発命中させるが、外した場合は弾1発につきペナルティループ（1周約150m）を1周する。

◎ ミックスリレー種目

男女2名ずつの男女混合。1・2走が女子でそれぞれ6km（2km×3周）、3・4走は男子でそれぞれ7.5km（2.5km×3周）を滑走。射撃要領及びペナルティはスプリント種目に同じだが、1回の射撃に予備弾3発の使用が可能。最終的に命中しなかった標的の数だけペナルティとなる。

◎ マススタート種目

男子15km（3km×5周）、女子12.5km（2.5km×5周）で1・2周滑走後に伏射、3・4周滑走後に立射の計4回の射撃を実施。射撃弾数、ペナルティはスプリント種目に同じ。

◎ パシュート種目

男子12.5km（2.5km×5周）、女子10km（2km×5周）で実施。射撃要領及びペナルティはマススタート種目に同じ。